

平成 29 年 7 月 10 日

各位

会社名 株式会社ソケット
代表者名 代表取締役社長 浦部 浩司
(証券コード：3634)

ソケット、連続ドラマの視聴率予測シリーズ第3回レポートを公開
～ 前クール予測結果 正解率 78%、次クールの初回視聴率を新たに予測 ～

株式会社ソケット（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：浦部浩司、以下「ソケット」）は、前回公開した、前クール連続ドラマ最終回チューニング後の視聴率予測結果が正解率 78%であったことを総括したレポートを公開いたしました。

さらに本レポートでは、新たに 2017 年 7 月期の夏ドラマを対象とし、自社のMSDB（※）より抽出した情報とドラマのあらすじを感情スコア化した情報を分析、初回視聴率予測を行っております。

ソケットでは、音楽、映像、書籍をはじめとしたエンターテインメントに関するメタ情報と、感情分析エンジン（特許出願中）による人の“感情”をキーとした分析予測から、商品開発・調達、マーケティング支援に向けた実用化を目指し、研究開発を推進しております。

（※）MSDB（メディアサービス・データベース）とは、ソケットが開発した音楽、映像、書籍、放送、人物、施設、一般商品情報などを体系的かつ特徴情報を詳細に分類したデータベースであり、人の感性や感情を捕捉した「感性メタデータ」をキーとしたプロファイリング、アナリティクス、パーソナライズ、レコメンド、マーケティングサービスを実現します。

2017 年連続ドラマ視聴率を予測する シリーズ第 3 回

さて、前クール 2017 年 4 月期のドラマもひと通り最終回を迎え、前回レポートでお伝えした途中経過から、最終結果が出ましたので、そちらをご報告したいと思います。

前クール連続ドラマ最終回視聴率予測結果

では、早速まいります。

その前に、今回の分析対象のおさらいから…

- 2003年1月期～2017年4月期までの地上波プライムタイム（19時～22時台）全国ネットの民放4局（日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日）の連続ドラマ
- 上記に付随する、放送曜日・時間帯、ドラマジャンル、各話視聴率、平均視聴率（※）、主演、出演者、プロデューサー・監督・脚本などの付帯情報全般、あらすじデータ
- MSDBより抽出した上記データのうち、ドラマあらすじから感情分析エンジンで感情スコア値を算出

（※）過去視聴率実績出典：「ビデオリサーチ社調べ」

予測モデル構築に関する詳細は、以下の過去シリーズをご参照ください。

視聴率予測シリーズ第1回：http://www.sockets.co.jp/kansei/kansei_report03.html

視聴率予測シリーズ第2回：http://www.sockets.co.jp/kansei/kansei_report04.html

2017年4月期ドラマ 9週目視聴率予測結果													
放送局	放送曜日	放送時間	ドラマタイトル	ジャンル	主演	実績視聴率				予測視聴率		誤差	判定
						初回	2週目	3週目	9週目	9週目	誤差		
フジ	月	21:00	へ 貴族探偵	ミステリー	相葉雅紀	11.8%	8.3%	9.1%	8.4%	8.8%	0.4	◎	
フジ	火	21:00	へ あなたのことはそれほど	刑事	小栗旬、西島秀俊	13.9%	11.2%	12.0%	10.3%	11.9%	1.6	×	
TBS	火	22:00	へ あなたのことはそれほど	恋愛	波瑠、東出昌大	11.1%	9.0%	9.5%	10.1%	12.1%	2.0	×	
テレ朝	水	21:00	へ 警視庁捜査一課9係 season12	刑事	井ノ原快彦	11.5%	11.6%	13.9%	10.4%	12.6%	2.2	×	
日テレ	水	22:00	へ 母になる	ヒューマン	沢尻エリカ	10.6%	10.7%	9.3%	8.4%	10.3%	1.9	×	
テレ朝	木	21:00	へ 緊急取調室（第2シリーズ）	刑事	天海祐希	17.9%	14.2%	12.4%	14.4%	14.5%	0.1	◎	
フジ	木	22:00	へ 人は見た目が100パーセント	ビジネス	桐谷美玲	9.5%	6.4%	6.0%	5.7%	6.6%	0.9	△	
TBS	金	22:00	へ リバース	サスペンス	藤原竜也	10.3%	6.3%	10.5%	10.4%	9.5%	0.9	△	
日テレ	土	22:00	へ ボク、運命の人です。	恋愛	亀梨和也	12.0%	9.6%	9.2%	9.2%	8.7%	0.5	◎	
TBS	日	21:00	へ 小さな巨人	刑事	長谷川博己	13.7%	13.0%	11.7%	13.7%	13.3%	0.4	◎	
フジ	日	21:00	へ 櫻子の足下には死体が埋まっている	ミステリー	観月ありさ	6.9%	6.5%	5.7%	4.4%	5.7%	1.3	×	
日テレ	日	22:00	へ フランケンシュタインの恋	サスペンス	綾野剛	11.2%	7.3%	8.4%	7.0%	9.6%	2.6	×	

※視聴率実績値出典：「ビデオリサーチ社調べ」

こちらは、初回に構築した前段のプロトタイプ版予測モデルで、9話視聴率を予測した最終結果となります。前回レポート（2017/6/14リリース）で途中経過時点で外れ値となった要因を分析、それを元に、予測モデルをチューニングし最終回視聴率予測を出しましたが、こちらの初期モデルは結果として、4勝6敗2引き分けで正解率40%での着地となりました。そして、本番最終回視聴率予測を行ったチューニング後モデルの予測結果が以下となります。

2017年4月期ドラマ 最終回視聴率予測チューニング後												
放送局	放送曜日	放送時間	ドラマタイトル	ジャンル	主演	実績視聴率				予測視聴率 チューニング後 最終回	誤差	判定
						初回	2週目	3週目	最終回			
フジ	月	21:00	貴族探偵	ミステリー	相葉雅紀	11.8%	8.3%	9.1%	9.8%	9.3%	0.5	◎
フジ	火	21:00	CRISIS 公安機動捜査隊特捜班	刑事	小栗旬、西島秀俊	13.9%	11.2%	12.0%	9.6%	10.5%	0.9	△
TBS	火	22:00	あなたのことはそれほど	恋愛	波瑠、東出昌大	11.1%	9.0%	9.5%	14.8%	16.8%	2.0	×
テレ朝	水	21:00	警視庁捜査一課9係 season12	刑事	井ノ原快彦	14.5%	9.6%	10.8%		9週目で終了		
日テレ	水	22:00	母になる	ヒューマン	沢尻エリカ	10.6%	10.7%	9.3%	9.7%	9.5%	0.2	◎
テレ朝	木	21:00	緊急取調室 (第2シリーズ)	刑事	天海祐希	17.9%	14.2%	12.4%	14.4%	14.8%	0.4	◎
フジ	木	22:00	人は見た目が100パーセント	ビジネス	桐谷美玲	9.5%	6.4%	6.0%	6.1%	6.0%	0.1	◎
TBS	金	22:00	リバース	サスペンス	藤原竜也	10.3%	6.3%	10.5%	10.4%	10.8%	0.4	◎
日テレ	土	22:00	ボク、運命の人です。	恋愛	亀梨和也	12.0%	9.6%	9.2%	9.7%	8.9%	0.8	△
TBS	日	21:00	小さな巨人	刑事	長谷川博己	13.7%	13.0%	11.7%	16.4%	14.2%	2.2	×
フジ	日	21:00	櫻子さんの足下には死体が埋まっている	ミステリー	観月ありさ	6.9%	6.5%	5.7%	4.9%	5.2%	0.3	◎
日テレ	日	22:00	フランケンシュタインの恋	サスペンス	綾野剛	11.2%	7.3%	8.4%	7.3%	6.9%	0.4	◎

※視聴率実績値出典：「ビデオリサーチ社調べ」

結果、7勝2敗2引き分け、正解率78%となりました。チューニングで、かなりの精度アップを実現できましたが、±1.0ポイント以上の誤差が出てしまった2敗は、後半じわじわと視聴率をアップさせてきたTBSの火10時枠「あなたのことはそれほど」と、安定した視聴率推移を示していた、こちらもTBSの日9時枠「小さな巨人」でした。

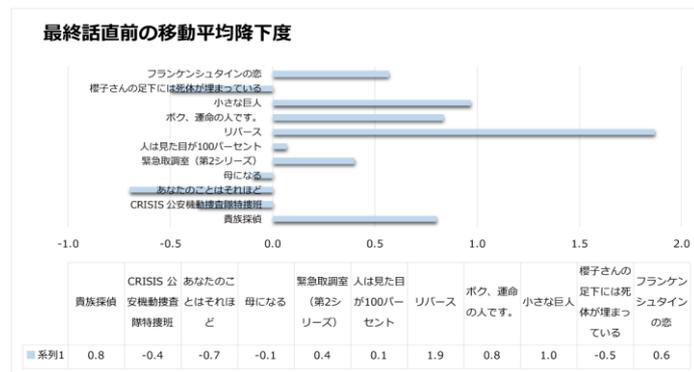
前クール予測結果考察

予測を外してしまった2つについて分析、その考察結果をご紹介します。

●TBSの火10時枠「あなたのことはそれほど」 +2.0ポイント差

こちらは前回のレポートでも触れたとおり、スポーツの生中継や特番などが同時時間帯に放送されることによる影響、つまり、数理モデルにおける変数不足により、予測値にブレが生じたと言えます。

下記の図は、最終話直前の『移動平均下降度を表したグラフ』ですが、こちらからもわかるように、最終前話の裏でサッカーのW杯アジア最終予選イラク戦が放映されたことにより、最終付近（前週～前々週）における移動平均における外れ値（下振れ）が発生しました。そのため、一番盛り上がる最終回直前で離脱した誤差3ポイント以上の視聴者が、そのまま最終に向けての関心度がそられてしまったのではないかと、という仮説となります。直前の予測であればまだしも、予測時にイベントが発生するかどうかは分かりません。それも踏まえてこの影響を吸収できるよう、過去の事例抽出、分析し、次回チューニング時に変数を組み込み、改善



を図りたいと思います。

●TBS の日 9 枠「小さな巨人」 -2.2 ポイント差

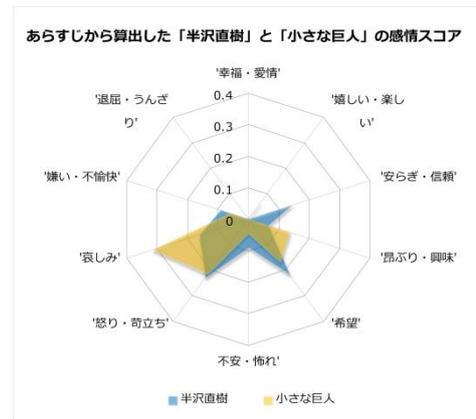
こちらは、直近のトレンド指数を加味していなかったことでの誤差と考えています。時代の流れとともに何事も流行り廃りがありますが、ドラマにも時代や時期ごとにヒットの法則的なものがあるとしたら、本作は大ヒット作「半沢直樹」と同じ、日 9 時枠で、助演に香川照之さん、「半沢直樹」「下町ロケット」も手掛けた八津弘幸氏が脚本協力で参加していました。

また、右記の通り、あらすじからの感情スコア値を見ても、「怒り・苛立ち」が高く、制作側は「半沢直樹」を意識し、視聴者もそのように認識していたのではないのでしょうか。実際に、2 つのドラマの感情スコア値傾向も非常に似ていました。

本作は、初回より高視聴率を維持しつつも、最終以前の値はそれほど上振れもなく下振れもない状態で推移していましたが、最終で大きく跳ねたのは過去作品での実績を拠り所とした潜在的視聴者の流動における結果と理解できます。多くの視聴者が「半沢直樹」で共感・評価したであろうポイントの再来に期待した現れではないでしょうか。

ヒット要因は多数あれど、それがたまたま単発で受けることもあれば、主流になることも、逆に二番煎じとして不評を買うこともあります。

前回、チューニングで、Twitter コメントからの感情スコアを盛り込みましたが、こちらとは別にさらに、ドラマに付随した話題性や好感度、またトレンドの共感軸をスコアリングした重みづけを加味するなど、今後検討していきたいと思います。



感情スコアからの考察

また、2003 - 2017 年 1 月期までの過去の連続ドラマデータの事前分析でも、視聴率と最も影響度が高かったのは「昂ぶり・興味」だったと第 1 回レポートでも少し触れましたが、そちらを分かりやすく表にした結果がこちらになります。

平均視聴率	2003 - 2017年連続ドラマ内訳	平均視聴率帯別ドラマあらずし感情スコア値が高かったものの割合										突出した感情スコアがなかったもの
		幸福・愛情	嬉しい・楽しい	安らぎ・信頼	昂ぶり・興味	希望	不安・怖れ	怒り・苛立ち	哀しみ	嫌い・不愉快	過酷・うんざり	
20%以上	3.5%	4.9%	12.2%	4.9%	39.0%	14.6%	0.0%	7.3%	0.0%	7.3%	2.4%	7.3%
15%以上20%未満	12.5%	5.2%	7.8%	3.2%	23.4%	14.3%	11.0%	1.3%	13.6%	11.0%	0.6%	8.4%
10%以上15%未満	44.8%	7.5%	6.1%	4.8%	24.6%	16.0%	10.7%	4.6%	9.6%	8.5%	0.4%	7.4%
5%以上10%未満	38.0%	8.0%	5.0%	6.1%	30.8%	15.4%	7.6%	2.2%	9.5%	8.9%	0.2%	6.3%
5%未満	1.3%	6.3%	18.8%	6.3%	18.8%	18.8%	12.5%	6.3%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%

こちらは、平均視聴率帯ごとに該当するドラマを仕分け、各ドラマで突出していた感情をカウント、各平均視聴率帯を100%とした時のそれぞれの割合を出したものです。『ドラマティック』という形容詞（意味：劇を見るように感動的、印象的であるさま。劇的。）があるように、全体的に「昂ぶり・興味」が高くなる傾向がありますが、その中でも平均視聴率20%以上を記録したドラマでは特に大きな割合を占めています。

また、2017年7月期連続ドラマのドラマキャッチコピー、紹介文から感情スコアを算出して見た結果がこちらとなります。

2017年7月期ドラマ	ジャンル	ドラマあらずし感情スコア値高かったもの											
		突出した感情スコア	幸福・愛情	嬉しい・楽しい	安らぎ・信頼	昂ぶり・興味	希望	不安・怖れ	怒り・苛立ち	哀しみ	嫌い・不愉快	過酷・うんざり	
全ドラマ平均	—	希望 昂ぶり・興味 哀しみ	0.067	0.106	0.072	0.160	0.163	0.085	0.074	0.159	0.090	0.025	
コード・ブルー—ドクターヘリ緊急救命—THE THIRD SEASON	医療ドラマ	昂ぶり・興味 希望	0.139	0.058	0.086	0.339	0.179	0.042	0.000	0.122	0.035	0.000	
僕たちがやりました	サスペンスドラマ	昂ぶり・興味 哀しみ	0.000	0.072	0.034	0.276	0.074	0.122	0.105	0.229	0.088	0.000	
カンナさーん!	ホームコメディ	希望 嬉しい・楽しい	0.027	0.168	0.085	0.097	0.212	0.041	0.134	0.074	0.161	0.000	
刑事7人【3期】	刑事ドラマ	不安・怖れ 昂ぶり・興味	0.000	0.000	0.099	0.193	0.087	0.263	0.145	0.150	0.063	0.000	
過保護のカホコ	ホームドラマ	希望	0.044	0.043	0.122	0.107	0.379	0.055	0.000	0.165	0.000	0.085	
遺留捜査【4期】	刑事ドラマ	安らぎ・信頼 嫌い・不愉快	0.060	0.153	0.261	0.000	0.076	0.000	0.200	0.200	0.250	0.000	
黒革の手帖	ビジネスドラマ	希望 哀しみ	0.033	0.142	0.000	0.069	0.275	0.069	0.204	0.209	0.000	0.000	
ゼンルのもくろみ	ヒューマンドラマ	嬉しい・楽しい 昂ぶり・興味	0.069	0.237	0.044	0.177	0.150	0.031	0.074	0.130	0.041	0.048	
ハコ一張りネズミ	探偵ドラマ	昂ぶり・興味 希望	0.041	0.121	0.000	0.293	0.150	0.132	0.148	0.047	0.068	0.000	
ウチの夫は仕事ができない	ホームドラマ	嬉しい・楽しい 哀しみ	0.042	0.249	0.000	0.126	0.150	0.000	0.000	0.207	0.179	0.048	
ごめん、愛してる	恋愛ドラマ	哀しみ 幸福・愛情	0.211	0.048	0.071	0.162	0.126	0.036	0.000	0.266	0.079	0.000	
警視庁いきもの係	刑事コメディ	不安・怖れ 希望	0.000	0.083	0.048	0.140	0.172	0.240	0.079	0.000	0.096	0.140	
愛してたって、秘密はある。	恋愛ドラマ	哀しみ 幸福・愛情	0.204	0.000	0.082	0.100	0.088	0.069	0.076	0.267	0.112	0.000	

7月期夏ドラマは全体で見ると「希望」「昂ぶり・興味」「哀しみ」が高めの傾向にあるようです。ちなみに、前クールドラマ全体で見たときの感情スコアは「哀しみ」「昂ぶり・興味」が高めとなっていました。

このあらずし感情スコア、また Twitter 感情スコアの傾向については、まだ解明しきれていないことが多いため、もう少しデータ量を増やしつつ、さらに検証・考察していきたいと思えます。

2017年7月期ドラマの初回視聴率を予測する

さて、最終回視聴率予測は、前クールで予測しきれなかった2つの敗因を改善すべくチューニングを加え、改めて再度予測したいと思いますが、今回新たに、初回視聴率予測に挑戦したいと思います。最初か最後か、一見大きな差はないような気がしますが、最終回予測モデルで加味していた初速実績1~3週目視聴率の移動平均などは利用できませんし、まさにゼロベースでの予測となり、ドラマ自体の視聴者吸引力（ドラマキャッチコピーや紹介文、キャスト、プロモーション他）と、それに対する視聴者の期待値と、その動向（視聴者がそのドラマをリアルタイムに楽しむのか、録画などで楽しむのか）をどう読むかがポイントとなってきます。

その前に、事前分析として、直近2013-2017年期のシーズン別での視聴率を確認してみました。やはり夏休みやお盆の傾向か、レジャーシーズンの夏場は初回~最終回平均の視聴率が伸びずに下がる傾向があるようです。ただ、初回視聴率に関しては新生活がはじまり、あわただしい春に比べて夏場はさほど考慮の必要はなさそうです。

直近の季節	平均	初回平均	最終平均	最終-初回
冬(2013-2017)	9.3	10.7	9.4	-1.3
春(2013-2017)	8.4	9.4	8.5	-0.9
夏(2013-2017)	9.0	10.9	9.4	-1.5
秋(2013-2017)	9.7	11.1	10.0	-1.2

※視聴率実績値出典：「ビデオサーチ社調べ」

ということで、初回視聴率予測用に新たなモデルを構築していくこととしました。

まず、ベースはもちろんソケット感情エンジンで算出したあらすじの感情スコア値です。こちらはある意味、最終回視聴率予測での利用に比べ、事前に視聴者へ向けて発信する訴求内容としてさらなる重要性をもっているかもしれません。さらに前回、最終回視聴率予測モデルのチューニングで精度アップに貢献した過去ジャンル時間平均、また主役、出演者などの過去視聴率寄与スコア、また視聴者の期待値を反映する意味で、放映前に公式Twitterアカウントがあるかどうかと、あった場合の放送前「いいね」数を加味したモデルとしました。

さらに、プロモーションや視聴者吸引力という意味では、主題歌における期待度も加味したいところではありましたが、こちらは現在、別軸で指標となるスコアリングを構築中のため、そちらの完成を待つ今後採用を検討したいと思います。他にもまだまだ盛り込むべき視点、考慮すべき点があがりましたが、まずは重要と思われる要素を柱とし、さらに根拠や精度が確認されているものを中心としたシンプルなモデルで行くこととしました。

【初回視聴率予測モデル プロトタイプ版】

今回は、2017年7月期ドラマの初週視聴率をYとする。

まず、主な主演役者・助演役者3人における過去の出演ドラマにおける平均視聴率※1を活用する。

$$Ta = \frac{Ta(\text{主演1}) + Ta(\text{主演2}) + Tw(\text{助演1})}{3} \dots\dots\dots (1)$$

※1 上記(1)は主演とすべき役者が1人の場合、また助演が過去に主演クラスであった場合でも助演扱いとするがすべてを足した後にその人数分を割り算している。上記では3人の役者の平均視聴率を採用しているため3で割っている。また、今回は役者ベースでモデリングを行ったため、同じ主演役者の値を採用することもあるため過去のドラマシリーズの実績値は使用しない。

そして、今期ではソーシャルインフルエンサーやドラマにおけるアカウントなども積極的にTwitter・ブログなどでプロモーションを行っており、その情報を加味することにする。注目したのが潜在的な人気指数を示すスコアとして各主演役者・ドラマのアカウントにおけるドラマ情報に関する総合「いいね」数※2を活用する。

※2 いいね数は2017年7月6日21:30分時点の数値を採用した。

$$Fa = \log(Fav(\text{主演役者}) + Fav(\text{ドラマ公式})) \dots\dots\dots (2)$$

以上の(1)(2)と以下の感情スコアを元にプロトタイプのモデルを記述する。

Yを求めることで各ドラマの初回視聴率を算出する。

あらすじの感情スコアがポジティブ寄りであったドラマを(3)、ネガティブ寄りであったドラマを(4)とする。

$$Yi = Tai + (Fai) * \sum_{i=1}^n (\text{感情スコア} P_i) \dots\dots\dots (3)$$

$$Yi = Tai + (Fai) * \sum_{i=1}^n (\text{感情スコア} N_i) \dots\dots\dots (4)$$

感情スコアP = (幸福・愛情, 嬉しい・楽しい, 安らぎ・信頼, 昂り・興味, 希望)^T

感情スコアN = (不安・恐れ, 怒り・苛立ち, 哀しみ, 嫌い・不愉快, 退屈・うんざり)^T

感情スコアPはポジティブな感情、感情スコアNはネガティブな感情をベクトル化したものである。P1とN1はあらすじから算出したスコアである。

そして、上記モデルで予測した結果はこちらになります。

2017年7月期夏ドラマ 初回視聴率予測						*2017年7月7日時点予測
放送局	放送曜日	放送時間	ドラマタイトル	ジャンル	主演	初回視聴率 予測値
フジ	月	21:00 ~	コード・ブルー—ドクターヘリ緊急救命—THE THIRD SEASON	ミステリー	山下智久	14.5%
フジ	火	21:00 ~	僕たちがやりました	刑事	窪田正孝	11.4%
TBS	火	22:00 ~	カンナさーん！	恋愛	渡辺直美	10.2%
テレ朝	水	21:00 ~	刑事7人【3期】	刑事	東山紀之	10.6%
日テレ	水	22:00 ~	過保護のカホコ	ヒューマン	高畑充希	10.8%
テレ朝	木	20:00 ~	遺留捜査【4期】	刑事	上川隆也	13.5%
テレ朝	木	21:00 ~	黒革の手帖	ビジネス	武井咲	12.3%
フジ	木	22:00 ~	セシルのもくろみ	サスペンス	真木よう子	9.7%
TBS	金	22:00 ~	ハロー張りネズミ	恋愛	瑛太	10.5%
日テレ	土	22:00 ~	ウチの夫は仕事ができない	恋愛	錦戸亮	11.5%
TBS	日	21:00 ~	ごめん、愛してる	刑事	長瀬智也	10.3%
フジ	日	21:00 ~	警視庁いきもの係	ミステリー	渡部篤郎	7.5%
日テレ	日	22:00 ~	愛してたって、秘密はある。	サスペンス	福士蒼汰	10.1%

本モデル、最終回視聴率モデルのように、過去実績に当てはめでの検証はできていません。なぜなら、今回、放送前の視聴者の興味・期待値を測る手段として、番組公式 Twitter アカウントの有無と、スタート前「いいね」数を加味しているからです。

ドラマ連動型の公式 Twitter アカウントが対象ドラマすべてに揃っているというのは非常に特徴的でもあり、ソーシャルメディアなど Web 上における話題性や連動性を意識したドラマにますます近づいてきていることの現れかもしれません。そうした意味で、ソーシャルインフルエンサーである渡辺直美主演ドラマ「カンナさーん！」がどれだけ数字をとるのか、今後少なからず影響を与えるであろう、その動向に注目したいと思います。

また主演クラスの俳優陣が助演として脇を固めているものが多く（黒木瞳、大竹しのぶ、栗山千明、蒼井優、山口智子、浅野温子、三田佳子、鈴木保奈美）、初回、または初回以降の伸びなど、どのように視聴率推移に寄与するのも結果との答え合わせをしながら、初回視聴率予測モデルや最終回視聴率予測のチューニングで取り込んでいきたいと思いません。

まずは、最終回視聴率モデル同様、こちらの結果を元に今後のチューニングを重ねていくことを方針として、まずは最初の一步を踏み出してみたいと思います。

さて、最終回視聴率のようにある程度結果を出すことができるでしょうか…？！

最後に

本シリーズも第3回となり、さらに新たな挑戦レイヤーに突入しました。実は今回の初回視聴率予測こそ、その時代に求められるキャストや構成を事前にとらえ、ヒット予測を行う、というソケットが目指す本質があると思っています。ただこちらの予測は、先に少し触れたとおり、最終回視聴率予測以上にまだまだ加味する点、検討すべきこと、クリアすべき課題が多々あるのも事実です。最終回視聴率予測も今後まだまだチューニングを重ね改善していく余地はありますし、こうした様々な研究開発での挑戦、その結果~の分析、考察、改善の積み重ねが、現在ご紹介しきれていないソケットの取り組みには重要な要素のひとつともなっています。

今後も、人の感情・感性がキーとなるエンターテインメント分野で、データを活用した予測科学で新たな支援やバリューを生み出していきたいと思っています。

「ソケットレポート」の記事のご利用、また共同研究などに関するご相談はこちらのお問い合わせフォームよりご連絡ください。

<http://www.sockets.co.jp/inquiry/contact/policy.html>

●公開日

平成29年7月10日（月）

●ソケットレポート

2017年連続ドラマ視聴率を予測する シリーズ第3回

http://www.sockets.co.jp/kansei/kansei_report05.html



株式会社ソケット：[\(http://www.sockets.co.jp/\)](http://www.sockets.co.jp/)

株式会社ソケットは、平成12年6月に設立された「人の気持ちをつなぐ」という事業目的を持ったデータベースサービス会社です。現在、KDDI株式会社、株式会社NTTドコモ、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社などへの音楽や映像、書籍などを中心とした検索・レコメンド・ストリーミング・データ提供・アナリティクスなどのデータ関連サービスを行っております。

本リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社ソケット

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル3F

担当：コーポレート本部 小田嶋

Tel：03-5785-5518 Fax：03-5785-5517

E-mail：ir@sockets.co.jp

以上